



net commons

次世代の情報共有基盤システムNetCommons(ネットコモンズ)  
Contents Management System + Learning Management System + グループウェア



# NetCommons updated

## NetCommons とは？

NetCommonsはCMS (Contents Management System) とLMS (Learning Management System) とグループウェアを統合したコミュニティウェアです。

NetCommonsによって簡単に構築できるサイトとして、次のようなものが挙げられます。

ポータルサイト

e-ラーニング  
サイト

グループウェア

コミュニティサイト

ソーシャル  
ネットワーク  
サービス

現在、NetCommonsは小中高校の学校Webサイト、学協会のポータルサイト、企業内グループウェアやe-ラーニングサイトなど多様な目的で全国2,000を超える機関により活用されています。

### ◆特徴

NetCommonsには、外部配信向けのポータルサイトの機能（パブリックスペース）、個人のバーチャルオフィスとしての機能（プライベートスペース）、グループの情報共有のための機能（グループスペース）が1つのシステムの中で統合されています。

パブリックスペースはメルマガの配信、お知らせの掲示、広告などの機能を持たせることができます。プライベートスペースでは、会員それぞれのネット上のオフィスとして、ファイルを保存したり、予定表を管理したり、非公開の日記をつけたりすることができます。グループスペースは「授業」「共同研究」「委員会」「ミーティング」「関心空間」などの目的で活用することができます。

NetCommonsの操作は、メールに添付ファイルをつけて配信する、というインターフェイスにあわせてあります。管理者は短時間で主要ブラウザで閲覧可能な美しくデザインされたサイトを構築することができます。また、一般参加者は短時間で操作方法を習得できます。

### ◆NetCommonsプロジェクトとはどのようなプロジェクトですか？

NetCommonsプロジェクトは、国立情報学研究所の社会・公共貢献活動の一環に位置づけられた次世代情報共有基盤に関する研究開発プロジェクトです。プロジェクトは国立情報学研究所をはじめとしたさまざまな公的補助を受けて運営されており、その開発には内外の研究者および技術者が参加しています。

NetCommonsの基本的な仕様はこうした研究開発プロジェクトの中で策定されますが、本公式サイトや実証実験を通じてユーザの声を集約し、それをフィードバックすることで、より多くの方々に喜んでいただけるようなシステム作りを心がけています。

NetCommonsサイトの例をいくつかリンクリストの形でNetCommons公式サイトトップページでご紹介しています。参考にさせていただきます。

プロジェクト公式サイト▶ [www.netcommons.org](http://www.netcommons.org)

### 内閣府認証特定非営利活動法人コモンズネット

コモンズネットは教育の情報化の推進を目的に設立された非営利活動法人です。

コモンズネットはNetCommonsの開発チームと共同研究団体を中心として構成され、NetCommonsの普及活動を行っています。主たる事業内容は右記のとおりです。

具体的には展示会や書籍等を通じてNetCommonsの普及を行ったり、セミナーや研究会を通じてNetCommonsのメンテナンス方法やハックに関するノウハウを民間企業に移転し、NetCommonsの健全な普及に心がけています。

NetCommonsの大規模導入をご検討の機関はぜひコモンズネットまでご相談ください。

- NetCommonsに関する各種セミナーの開催及び他関連団体との交流事業。
- 教育用オープンソースに関する調査研究、情報収集及び提供事業。
- 教育用オープンソースに関する出版物及び会報等の発行事業。
- 教育の情報化に関するソフトウェア等の企画・開発・販売。



公式マニュアル／近代科学社 刊

コモンズネット問い合わせ窓口： [staff@commonsnet.org](mailto:staff@commonsnet.org)

# NetCommonsが開く新しい世界

## NetCommonsの柔軟性と機動力

最大の特長はあらゆるタイプのサイトを短時間で構築できる柔軟性と機動力です。NetCommonsプロジェクト内の実験によって、日本で公開されている主要なポータルサイトがNetCommonsを使って再現可能であることが実証されました。また、主要なレンタルサーバ上で動作することも確認済みです。携帯電話等に対応済みであるため、別途携帯サイトを作らなくても閲覧できるのも魅力のひとつでしょう。Ver2.2からは携帯との連携がより強化されるとともに、SEO（検索エンジン最適化）もほどこされ、各ページに静的なURLを付与することができるようになりました。低コストで誰もが気軽に始められ、短期間で魅力あるポータルサイトを構築できる—NetCommonsはまさに次世代の情報共有基盤なのです。

## NetCommonsの動作環境

- ◆ **サーバソフトウェア**
  - Webサーバ：Apache 1.3 もしくは 2 以降
  - PHP：PHP4.4.9 以降
  - データベース：MySQL 4.1 以降
  - OS：Linux, Windows Server
  - 推奨の組み合わせ：Linux, PHP 5.1.6, MySQL 5.0.22, Apache 2.2.3
  - ※動画配信モジュールを使用する場合は、下記ソフトウェアが必要。  
ffmpeg, ffmpeg-php (サーバ環境によっては導入できない場合があります)
- ◆ **ハードウェア**
  - CPU：Pentium4 2.8GHz 以上
  - メモリ：2GByte 以上
  - HDD：30GByte 以上 (NetCommons2.2ファイル展開直後のサイズ：約35MByte)
- ◆ **ブラウザ**
  - MicroSoft Internet Explorer 6 以降
  - Mozilla FireFox 3 以降

### 1 Public Space

#### 外部向けポータルサイト

##### 広報用ホームページ構築支援

- Webプログラミングやデザインを知らなくても、簡単に美しいポータル・サイトが構築できる
- メールマガジンの配信や管理
- 多様なコンテンツの配信や管理

LOG  
IN

### 2 Group Space

#### グループ向けコミュニティサイト

##### グループウェア・e-ラーニング

- アクセスコントロールを備えた本格的なグループウェア
- e-ラーニング用モジュールを標準装備
- 必要な機能を取捨選択し、目的にあった柔軟な情報共有の場を構築できる

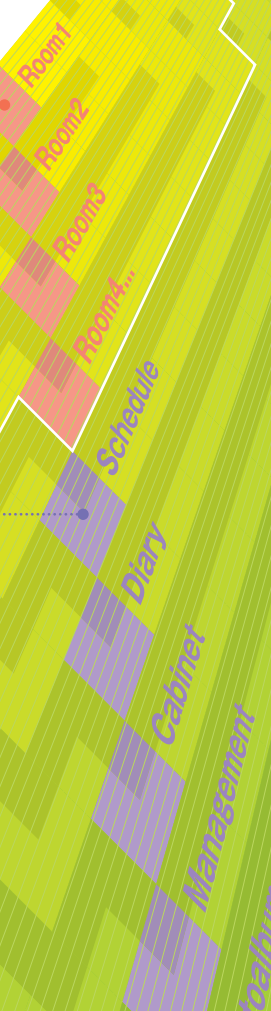
### 3 Private Space

#### 個人向けバーチャルオフィス

##### 個人向けファイル管理システム

- Web上のファイル格納庫
- 日誌・備忘録
- スケジュール管理

## 3層のバーチャルスペース



# 「教育の情報化」をこのシステム1つで実現

## NetCommons 導入事例

### 教育機関

NetCommonsは「教育の情報化」の推進を強力に支援するツールです。保護者や地域社会への広報、ICTを活用した教育の充実、校務の情報化、さらにネット社会への適応力育成等、高度化・複雑化する学校に求められる情報化をこのシステム1つで実現。2008年の調査によれば、全国の教育センターのうち1/3以上においてNetCommonsの導入・研修事業・研究が行われています。

### case 1 筑西市立 竹島小学校



<http://kensyu-takesho.sakura.ne.jp/>

### みんなで作る 参加型ホームページ

見やすく分かりやすいと高い評価を得ている竹島小学校のWebサイト。学校生活の様子や学習成果を紹介するなど児童が中心となって情報発信しており、内容も大変充実しているのが特徴だ。「学校の中だけでなく、地域にも情報を出し、学習活動の出口として（HPを）制作している」と担当の小倉先生。保護者が、子どもたちの記事にコメントを寄せたり、地域での子どもたちの様子を投稿するなど、地域コミュニティとしての学校webサイトが基本コンセプトとなっている。

- ASCII主催第8回こどもホームページコンテスト 優秀賞
- 第12回いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞2008 茨城県企画部長賞（ホームページ部門優秀作品）
- 第6回全日本小学校ホームページ大賞（=J-KIDS大賞2008）茨城県代表校

### case 2 千葉県立 東葛飾高等学校



### 全員手軽に書き込める環境で 円滑な校内連絡を実現

東葛飾高校では、2006年3月より校務の情報化を推進する「東葛飾BLOG」がNetCommonsを活用してスタートし、今年で3年目を迎えた。これは2006年度からの7時間目導入のために、生徒の朝のショートホームルームの廃止、教員の朝会の時間短縮を考へて作られた校内のグループウェアとしての活用事例である。朝、登校すると教員はまず「東葛飾BLOG」に目を通し、本日の連絡事項や出張、会議などについて確認する。そして午後、各自必要なことを書き込む。校内の文書やその提出の一部はキャビネットを経由して行われている。全員が手軽に書き込みできるので、円滑な校内連絡が実現されている。

# NetCommons updated

## フレキシブルなページレイアウト

2000年を境に、Webは情報展示ツールからコミュニケーションツールへと急速に変貌しました。殊に2002年のブログやソーシャルネットワークサービス(SNS)の出現を経て、その傾向が加速しています。

今後、Webは情報発信という役割以上に、情報アーカイブ、情報共有の役割がさらに増大することが予想されます。NetCommonsは、そのサイトにアクセスさえすれば、ユーザごとにテラーメイドの情報を伝えられる統合型Webサービスシステム。フレキシブルなページレイアウト機能により、利用したい「モジュール」を組み合わせたことが可能です。

「モジュール」とは、Webサイトの画面を構成する「部品」であり、それぞれ機能が異なります。NetCommonsには現在36種類のモジュール

module

## 1 お知らせ



「お知らせ」モジュールを使えば、もうHTMLを覚える必要はありません。ワープロ感覚で編集できるWYSIWYGエディタ搭載により、画像の挿入や文字の強調、見出しの設定、表作成等が誰でも容易にできます。文章や図などの配置をドラッグ&ドロップで変更することもできるため、直感的にWebページを制作できます。HTML編集モードからはブログツールの利用や既存Webサイトからの引っ越しも可能です。

module

## 2 日誌



「日誌」モジュールは時系列で記事を自動的に整理することができます。メール送信機能を利用すれば、会員登録をされたユーザへ不審者情報や緊急連絡等をメールにて配信することが可能です。メールは、パソコンでも携帯電話でも受信OK。「お知らせ」に比べてコンテンツの配信・管理が容易なため、多くのNetCommonsサイトのパブリックスペースで活用されています。カテゴリ設定、RSS配信も可能です。

module

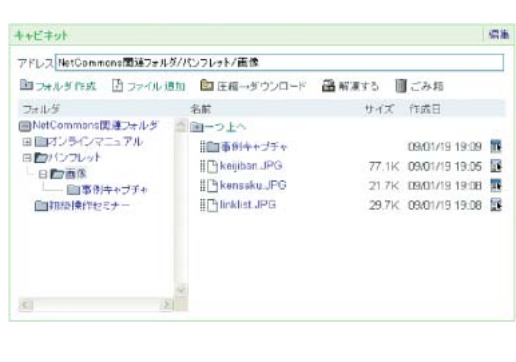
## 3 カレンダー



予定が書き込まれている日をクリックすると、予定の詳細が別窓で表示されます。地図やリンクの挿入もWYSIWYGエディタにより自由自在。また、NetCommonsの「カレンダー」は、どこに設置しても閲覧しているユーザの属性によって見せる内容をコントロールすることができます。拡大月表示、年間・週・日ごとの表示、会員順・時間順のスケジュール表示が可能です。デフォルトの表示方法は管理者が設定します。

module

## 4 キャビネット



ユーザにダウンロードさせたいPDFやワード、エクセル等の電子ファイルを格納するために使います。グループ内でファイルを共有するためのツールとして、あるいは「プライベートスペース」に設置すればUSBメモリなどの代わりとして利用することができます。学校では配布したお便りや願書、募集要項等を格納するのに使用しています。

NEW  
module

## 動画配信

NetCommons2.2の拡張機能として動画配信が可能となります。動画形式ファイル(AVI/MPEGなど)をアップロードすることでFlashビデオ形式で動画配信を行うことができます。これにより誰もがYouTube\*と同じサービスを開始できるようになることでしょう。本機能は拡張モジュールとして公開する予定です。  
\*YouTubeは、YouTube,INCの登録商標です。



ルが標準装備されています。たとえば「日誌」、「掲示板」、「キャビネット」「フォトアルバム」等の情報共有のための機能を持ったモジュール、「カレンダー」、「リンクリスト」、「登録フォーム」等の情報管理のための機能を持ったモジュール、「小テスト」「レポート」等のeラーニングのための機能を持ったモジュールです。また、Webサイトの管理運営をスムーズに行うことができるコントロールパネルには管理系のモジュールが配置されています。「モジュール」はドラッグ&ドロップで配置換えができる上、他のページに移動やコピーができる設定もあります。

module

## 5 掲示板



グループルームに参加している会員が、情報を交換したり議論したりするために提供されているのが「掲示板」モジュールです。掲示板は、投稿された話題の一覧性を高めるスレッド表示、内容を最初から見せるフラット表示を始め、表示方法が多様であり、見せ方を管理者が工夫できます。NetCommons公式サイトではメールマガジン配信用として掲示板を利用しています。トップページから登録したユーザに向け、投稿と同時にメールが配信されます。バックナンバーはタイトルを一覧して表示されます。

module

## 6 汎用データベース



会員が協力してテーマにそったデータベースを構築したり、それを公開することでサイトの求心力を高めたりするためのツールが「汎用データベース」モジュールです。コンテンツ投稿の承認設定も可能です。これは、モデレータや一般会員にも汎用データベースのコンテンツを投稿させる場合、その内容を管理者があらかじめチェックし、内容を承認してから掲載を反映させるための機能です。

module

## 7 アンケート



サイト上でアンケートを実施するための機能を提供するモジュールです。ルームの中に設置されたアンケートは、ルーム参加者のみが回答できます。パブリックスペースに設置して公開したアンケートには、ログインしていない非会員にも回答させることができます。「集計結果」というリンクをクリックすると、ルーム参加者全体のアンケートの結果分析が自動集計され、グラフ表示されます。管理者はCSV出力も可能です。

module

## 8 フォトアルバム



越前市立花籠小学校では、児童の作品や学校行事、四季折々の学校の様子をフォトアルバムにしてトップページのスライドショーとして表示。バックナンバーは「アルバム」というページを作り、一覧にして格納しています。ユーザは画像を見ながら「投票する」をクリックすると、投票できますし、「コメント」のリンクをクリックすると、その写真に対してコメントを書き込むことができます。

# 複数担当者による運営が可能な柔軟な権限設定

## NetCommons 導入事例

### 公的機関

NetCommonsには電子自治体オンライン利用促進に必要な、ファイルのダウンロードができるキャビネット、講座や申請を自動集計してくれる登録フォーム、RSS機能、メール配信機能など、多くの機能が標準装備されています。サイト運営を複数の担当者がそれぞれの権限の範囲内で分担して管理することを前提に設計されているため、柔軟な権限設定が可能です。

case

## 1 屋久島町



<http://www.yakushima-town.jp/>

### ブラウザからの直接更新と 簡単操作が導入の決め手

屋久島町では旧上屋久町, 屋久町が合併し、島に6カ所ある分散した庁舎からコンテンツをそれぞれ管理できるように、操作が簡単でブラウザから直接更新できるNetCommonsを採用。導入費用は100万円弱、構築期間は1カ月未満、公開からの約2カ月半で、従来の数年分に相当する11万以上のアクセスがあった。現在、住民向けの情報として町の最新ニュースをほぼ毎日更新しているほか、防災無線情報や休日当番医のお知らせ、フェリーの運航情報などを複数の担当課が分担して更新している。

case

## 2 JICA グローバルネットワーク



<http://jgn.jica.go.jp/jp/>

### 日本語および英語による 情報発信を行うサイトを構築

JICA(独立行政法人国際協力機構)の研修事業に関するさまざまな情報や知識を世界150カ国以上から参加している研修員のみならず援助関係者など広く情報発信を行うサイトである。日本語以外に標準で英語インターフェースを備えるNetCommonsを使用して研修事業の概要、研修成果としてのインパクト事例、研修中の研修員の声など様々な情報を日本語および英語にて提供を行っている。また研修員等関係者向けサイト(SNS)との連携も行っている。

NEW

サイエンス2.0へようこそ——  
新世代研究基盤 リサーチマップ

▶ researchmap



研究者仲間だけに公開するもの、非公開とするものを自分の意思で自由に選別することができます。

ResearchmapのCVデータは、ブログパーツとして切り出し、所属機関の公式ウェブページ上に簡単に「貼り付ける」ことができますので、「HTMLが書けないから…」という理由で公式ウェブページに取り組みなかった研究者や、研究成果公開用ホームページの構築に迫られている部局にとっても朗報となることでしょう。

「マイポータル」には他にも、講義資料や論文などを配信する資料庫、研究ブログを発信するためのブログツール、予定を公開するためのカレンダーなど全20種類以上のツールが用意されています。研究者はそれらのツールから必要なものをチョイスして、簡単に自分らしい情報発信の在り方を追求することができるのです。

他にも、Researchmapには研究者コミュニティを支援するいくつかのツールが備わっています。そのひとつに、仲間の研究者と研究コミュニティを作成する「コミュニティ」機能があります。研究コミュニティの領域には、予定や仕事を管理するためのカレンダーやToDo表、データを共有するためのキャビネットなどが設置されています。電子掲示板はメールと連動させることによって、メールリストのように使いこなすこともできます。

また、各研究者は管理者も決して覗くことができないプライベートな領域を持つことができます。これを研究者の「マイルーム」とよびます。「マイルーム」には他の研究者からメッセージを受け取るためのウェブメール状のメッセージャーが用意されているほか、自分専用のバーチャルフォルダ、カレンダーなどを設置することができます。これらの機能はすべて主要な携帯電話からアクセス可能であり、出先からスケジュールを確認するのに便利でしょう。

Researchmapのトップページでは、全国の大学等研究機関で開催されているイベントの一覧を公開しRSSで配信しています。Researchmapにイベントを登録することによりイベントの可視率が飛躍的に高まるでしょう。

Researchmapには、科学研究費補助金の研究者番号を入力することによって、あるいは、既に登録済みの研究者から招待を受けることによって、IDを取得することができます。

研究者の「名刺」として、ぜひResearchmapをご活用ください。

PCの電源を入れ、メーカーを立ち上げ、届いた数十通のメールを分類し、返事を書く。ワープロを立ち上げて論文を書き、関連論文をウェブ上で検索し、その傍らで共同研究者にショートメッセージを送る…この10年足らずの間に、ICT技術は研究者の日常をこのようなものに変えました。いまや多くの研究論文はデジタル化されるのではなく、デジタルとして生産 (born digital) されています。そのような環境の中、研究者にとって情報インフラを確保することは、研究室を確保するのと同じように不可欠なことになりつつあります。しかも、その情報インフラとは、単に高速回線とPCを意味するのではなく、ウェブメール・ウェブカレンダー・ウェブキャビネット等を含む高機能かつ安全なサービスを含むものが期待されるでしょう。

それらを包括してサービスする新世代研究基盤として期待されているのが、Researchmapなのです。

国立情報学研究所が属す情報・システム研究機構では、平成17年度からバーチャルラボの構築に関する研究を進め、情報共有基盤システムNetCommonsを開発・公開してきました。ResearchmapはNetCommonsの開発チームがこれまでの研究成果を基に構築したバーチャルラボサービスです。

ResearchmapのIDを持つ研究者は、そこに自分の研究ホームページを公開することができます。これを研究者の「マイポータル」とよびます。「マイポータル」には研究者履歴 (Curriculum Vitae) のテンプレートが備えられており、経歴・研究分野・研究キーワード・論文リスト・講演リストなどを発信することができます。ただし、数十、数百に及ぶ項目を手入力する必要はありません。なぜなら、公開されている各種研究データベースとResearchmapは連携しており、研究者名と所属機関名から論文や著書、研究キーワードや分野などの情報を自動的にフィードするからです。数クリックするだけで、研究者ホームページの7割以上を自動構築してくれる…それが、Researchmapが他の研究者データベースと大きく異なる点です。

Researchmapで研究成果を管理すれば、科学研究費など各種補助金の書類や評価データの提出のフォーマットづくりも簡単です。研究者履歴の各項目にはアクセスレベルを設定することができるので、研究者は研究成果の中から、広く一般に公開するもの、



「繋がりが新たな繋がりを生む」  
「研究者にとって必要な情報」が養分  
Researchmapサイト ▶ <http://www.researchmap.jp/>

 net commons  
プロジェクト公式サイト ▶ [www.netcommons.org](http://www.netcommons.org)

**第三回国際ソフトウェア競技会で最優秀賞を獲得しました!**  
NetCommonsは、教育分野の革新的技術に関する国際会議CATE2007で行われた第三回国際ソフトウェア競技会で最優秀賞を獲得しました。



### 国立情報学研究所について

国立情報学研究所は、情報学という新しい学問分野での「未来価値創成」を目指すわが国唯一の学術総合研究所として、ネットワーク、ソフトウェア、コンテンツなどの情報関連分野の新しい理論・方法論から応用展開までの研究開発を総合的に推進しています。また、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に不可欠な最先端学術情報基盤 (サイバー・サイエンス・インフラストラクチャ:CSI) の構築を進めるとともに、全国の大学や研究機関はもとより民間企業や様々な社会活動との連携・協力を重視した運営を行っています。

**NII** 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 **国立情報学研究所**

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター TEL.03-4212-2000 (代表) [www.nii.ac.jp](http://www.nii.ac.jp)